

# かみくげ 恐竜の里新聞

平成二十二年十二月二五日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第19号

上久下  
地域づくり  
センター  
0795 78 0001

## 丹波竜化石

### 4次発掘調査始まる

人と自然の博物館は12月8日、多くのマスコミ関係者を前に第4次発掘調査を開始すると発表しました。

今回初めて発掘現場のすぐ近くまで報道関係者を入れて、翌日から始まる岩盤除去作業の重機を前に、三枝研究員から4次発掘調査の方法や、全身骨格への期待について説明がありました。

3次調査までに見つかったくない部位、首や脚が発見されることを期待しながら、丹波竜以外の恐竜や、最近報道されたカエル化石のような小動物の化石など貴重な発見をしたいと抱負を語っていました。

地元を中心とした発掘ボランティアを入れての手掘調査は1月9日から始まり、2月末まで続きます。「4次発掘においても地元の期待に応えるべく成果を上げたい。地域のご支援とご協力をよろしく願います」と博物館関係者は話しています。



## 恐竜焼き販売間近！ 元気村かみくげで

恐竜の里づくり協議会が丹波竜化石発見を記念して検討中だった「恐竜焼き」が、農水省ふるさと支援モデル事業を活用してようやく完成しました。

卵の形の中に丹波竜を浮かび上がらせたもので、当面、中身にあんこ入りとお好み焼き風の2種類を販売します。惣菜はすべて地元産で、あんこはじめ、制作は食品衛生管理責任者資格を取得し

た地域内のスタッフが対応します。また、味付けや焼き方の指導には大阪のプロの業者からの指導を受けて行っていますので、自信を持って販売することができそうです。

上久下地域の「味自慢・特製」の恐竜焼きとして、特許庁に意匠登録も申請中です。販売は来年1月はじめより「元気村かみくげ」で、価格は1個130円を予定。恐竜焼きが上久下の名物となり、地域内外に広く愛されることを願っています。

同時にただ今、好評発売中の「ちーたん生キャラメル」も街から来る人のお土産に、街に出かける時の高級お土産品としても最適です。どうぞご利用ください。黒豆入り880円（12個入り）、プレーン800円です。



## 風景街道「道で元気」 イベント開かれる

12月6日、旧上久下村営発電所修復工事完了を記念して、元気村かみくげから発電所までをのんびり、ぶらぶら歩こうと大正ロマン街道を再現した「まるごと時代の博物館」イベントが開かれました。

「元気村」駐車場では常設の野菜・グッズ販売コーナー、化石発掘体験のほか、テントの下でうどんやせんざい、ケーキの販売など、また駐車場から発電所までの田んぼの脇には地域内から出品された50点あまりの当時に思い起こせる農器具などが数々展示され、田んぼの中からは煙があがり焼き芋で来訪者を迎えていました。

修復された発電所内には当時の電灯や傘、オイルランプや電話機・蓄音器など懐かしい品物がならび、窓から眺める溪谷の風景に多くの人が見入っていました。

来年2月に内装工事が完了すれば、1階、2階とも見学可能になり、先人の遺物がよみがえり、地域のシンボルとして再び輝きはじめることでしょう。イベント実行委員さんからは「出展にご協力いただいた皆さんのご支援あって700人もの人が楽しんでくれました。お礼を申し上げます」とのことでした。





## 250匹放流 加古川漁連が川代公園に

風景街道・道で元氣「まるごと時代の博物館」イベント開催の12月6日午前、恐竜の里づくり協議会の要請を受けて加古川漁連はニジマス稚魚250匹を川代公園内の篠山川に放流しました。

公園に横づけされたトラックからバケツに移されたマスは地元有志10人余りのリレーで無事溪流に放たれました。放流されたニジマスは15センチから20センチに成長しており、新しいすみかの篠山川で大きく成長することが期待されます。

川での魚つりは中学生(含む)以下の子どもは無料ですが、大人は1日800円が必要です。加古川漁連に放流を強く要望した協議会会長の酒井将瑞さんは「ニジマスがカワウの餌になることが心配だが、大きくなって川代渓谷でたくさん釣りを楽しませて欲しい。そして、マスが集客に一役かってくれるはず」と放流を喜んでいました。



## 丹波竜アートに電飾 篠山川久下地区河川敷

久下地区大谷自治会が今年8月、篠山川大谷河川敷にレンガやタイルを使って

久下小学校6年生や地元住民らで完成させた丹波竜アートの電飾が取り付けられ、12月13日夕刻、小学生児童や住民約200人が集

まって点灯式がありました。

カウントダウンによってともされた電球(約5000球)はあざやかに恐竜を浮かび上げらせ、参加者から歓声があがっていました。

対岸の道路からも、近くを走る電車の車窓からも夜空に浮かぶ恐竜がひととき目を引き、恐竜の里の名所のひとつとして広くPR効果が期待されています。上久下地区から点灯式に参加した一人は「久下の丹波竜アートと上久下の丹波竜モニメントが川と道路と鉄道でつながる丹波竜の里を元気づけてくれるといいですね」と感想を語っていました。



## 案内看板を新設 山南ライオンズクラブ

山南ライオンズクラブは発掘現場駐車場(元氣村かみくげ)への誘導看板を県道77号の上下線の目立つ場所2か所に設置し、上久下地区に寄贈しました。元氣村かみくげには観光バスや自家用車が多く入ってくるようになり、また、誘導看板が小さく見にくい、ため、通りすぎるが多く、見やすい場所に大きな案内板の設置が望まれていました。問題解決のため山南ライオンズクラブより設置の申し出があり、自治協議会では喜んで受けることにしました。設置完了にともない柳川瀬自治協議会長は、「これで車で来られる人に迷惑をかけることなく済みます」と喜んでいました。



## サンタクロースが ちーたんを連れてきた

12月7日、上久下愛育班の親子40人が地域づくりセンター多目的研修室でクリスマス会を開きました。可愛らしく飾り付けられた会場で子供たちは手づくりのケーキやお菓子を食べたり、ゲームをしたり、にぎやかな声が響いていました。

今年もサンタクロースがやってきて子どもたちにお菓子を配ったり、「今年はおもう一つプレゼントがあるよ」と言ってお菓子を配ったり「ちーたん」が登場し、子どもたちを楽しませました。子どもたちはちーたんにふれたり、サンタクロースと一緒に写真におさまったりして、楽しい1日を過ごしました。



1月の予定  
◆1月9日(土) 第4次発掘調査開始  
◆1月10日(日) 新春賀詞交歓会 午前10時から 地域づくりセンター